

広
報

せいよ



ヒトコトからジブンコトへ
「愛救143運動」で
医療を守ろう

10/1から販売開始！
スマホやPCが最大4万円安く
なる「西予インターネット等利用
促進プロジェクト参加券」

「看護師」再就職を支援
ハローワークでの
ナースセンター移動相談

20年間で4千万円の収入見込み
市施設で太陽光発電

特集

このまちで生きて逝く

命のバトン

OCTOBER 2015
NO.138

「あって当たり前」な病院から 「いて当たり前」な医師たちが もし、いなくなってしまうたら。

愛媛県は全国平均以上
なのに西予市は3分の1以下

家族や自分自身に何か起きたとき、一番身近な中核病院は市内にある2つの市立病院です。この地で「生きていく」上で、身近で確かな医療が受けられるのは重要なこと。

しかし今、全国の自治体病院のおよそ9割は赤字、8割は医師不足だといわれています。医師不足で診療科が減る病院も増えてきています。西予にある2つの市立病院でも、医師・看護師不足は深刻な問題です。

人口10万人あたりで見ると、西予市の医師数は53・47人。全国平均の約3分の1以下です。看護師数は361・93人で、全国平均の約2分の1以下。しかし、愛媛県全体で見ると、西予市の医師数は152・76人。全国平均を上回っています。これは松山市などに病院や医師が密集しているため。医療の地域偏在が、年々進んでいます。

医師の高齢化も進んでいます。勤務医の平均年齢は西予市市民病院で42・1歳、野村病院で42・7歳。ある程度の高齢化はベテラン医師の増加という意味で医療の質を向上させますが、仕事量が年々増加している院内で高齢化が進むと、体力的な衰えから疲弊は加速していきます。

このまま減少が進み、「身近にあった当たり前」な病院に「いて当たり前」な医師や看護師たちが、もしいなくなってしまうたら。今号は私たちの命に関する問題に迫ります。



市外の病院にかかると関係ない？

ううん、これはもう「ジブンゴト」

「我が家はまだ西予市市民病院を利用したことはありません。でも、病院が新しくなって、心強く感じています。身近に大きな病院があるのはありがたいです。長男がぜんそく持ちで、夜中に市立宇和島病院や野村病院まで車を走らせたことがあります」と健介さん。

佐々木 健介さん (32)
千沙代さん (32)
悠翔くん (8)
絢未ちゃん (5)
＝宇和町久保＝

特集

このまちで生きて逝く

命

ボタン

いつか親や家族を看取り

その後もこの地で生き続けるあなたへ

- ※1…全国公私病院連盟と日本病院会の平成26年3月3日公表「平成25年病院運営実態分析調査の概要」による（集計数957病院）
- ※2…医師不足については厳密なデータはないが、「自治体病院の8割は医師不足と見ていい」（全国自治体病院協議会会長 小山田恵氏）。Nikkei Medical2007.07 から引用
- ※3…医師不足は平成16年度からの新しい医師臨床研修制度をきっかけに全国的に問題化。この制度により研修医たちは大学院の医学部（医局）の意向に関係なく、自らで病院を選べるように。そうすると薄給で下働きが多いとされる大学院や地方病院を避け、多彩な症例を経験できる病院や待遇などに恵まれた病院で臨床研修を受ける医師が続出。研修後もそのまま働き続けるケースが多いため大学院は地方に派遣していた医師を引き揚げ、高度な医療水準を維持しようとした。それにより地方病院の医師は不足。医師の補てんができない診療科は、閉鎖に追い込まれています。

※4

職員別の人員数	人口10万人あたり人員数			
	西予市	八幡浜 大洲圏域	愛媛県	全国平均
医師（常勤換算人数）	53.47人	85.22人	166.99人	152.76
看護師（常勤換算人数）	361.93人	683.51人	852.10人	632.14

2014年7月現在の地域内医療機関情報の集計値（2010年国勢調査総人口で計算）
出典：日本医師会 地域医療情報サイト（http://jmap.jp/）

西予の市立病院、

どうなってるん？

ここ10年で6千人以上減少した市の人口。20歳未満は約2千人減り、人口の1.5割を切りました。一方で65歳以上は約600人増加。人口の4割近くを占めるまでに。少子高齢化は、市内でも急速に進んでいます。だからこそ求められているのは、より身近で確実な医療。しかし、現場では看護師たちから悲鳴が上がっています。



「昨日は眠れた？朝ごはんも食べられたかな？」と看護師の佐藤さん。「夜はぐっすり。食事もおいしくて食欲もりもりよ、ありがとう」と入院患者さん。

全国の自治体病院勤務の看護師

「辞めたい」8割以上

仕事を辞めたいと思いますか	率 (%)
いつも思う	26.2
ときどき思う	54.3
思わない	13.1
無回答	3.2

8割以上

仕事を辞めたいと思う主な理由	率 (%)
1 人員不足で仕事がつらい	37.2
2 賃金が安い	29.5
3 休みが取れない	29.0
4 夜勤がつらい	28.3
5 仕事の達成感がない	19.1
6 職場の人間関係	19.2
7 医療事故への不安	19.7
8 患者・家族からのクレーム	10.1
9 その他	8.2
無回答	20.6

「看護職員の労働実態調査」自治労連2011年



「もっとケアしたい」「もっと関わりたい」現実と理想のジレンマ

「時間があれば、こまめにしたいところがたくさんあります。もっと頻繁におむつ交換したり、ひげをそったり、手をお湯につけてマッサージしたり。『もっと患者さんと関わりたい』と思っている看護師たちは多いです。」

これはある看護師（西予市民病院勤務）の言葉です。採血や点滴、処置などはもちろん、2時間ごとに行う寝たきり患者の体位変換やおむつ交換など、日々の業務は多岐に渡ります。取材中もナースコールがひっきりなしにかかる状態。『ご飯は食べられたら良い方。休憩時間はあつてないようなものです。時間になったから帰ります、というのがない世界ですから』と急ぎ

足で病室に向かいます。

したい看護はたくさんあるのに、時間がなくてできない。彼女たちが抱えるジレンマの奥には「10対1看護」の現状が潜んでいます。

「10対1看護」とは、入院患者10人を1人の看護師が診る体制のこと。西予にある2つの市立病院の体制です。

2006年の診療報酬改定をきっかけに、大手の病院は「7対1看護」という手厚い看護をうたい、多くの看護師を獲得しました。その結果、大手の病院には看護師が集まり地方には足りなくなるといって、看護師の偏在化が発生。「1人でも休むと仕事が回らない。自分や家族が病気をしても、気兼ねなく休むこともままならない」という悲鳴が、現場から上がっています。

折れそうな心を支えるもの

食事も休憩時間もとれない日々をこなす彼女たちが一番うれしい瞬間は「ありがとう」という言葉を掛けられたときだと言います。「きれいごとじゃなく、この一言でこんなに辛いことがあつてもがんばれます」と話す人も。日に日に元気になっていく姿や「ありがとう」の言葉に支えられて激務をこなす姿が、現場にはあります。

VOICE

私たちの声



（平成26年度まちづくり市民アンケート結果と取材から）

新しい市民病院に、産婦人科や小児科ができなくて残念

▼手は尽くしましたが、全国的にも医師が不足していて確保が難しい状況です。

二次救急や三次救急と言われても、よく分かりません

▼二次救急は「入院治療が必要な患者」を受け入れる病院。西予の2つの市立病院が担当です。三次救急は「極めて専門的な治療が必要な患者」を受け入れる病院。南予では市立宇和島病院が担当。一次救急は「外来で治療できる患者」を受け入れる病院。平日の夜間は市立病院で、休日は市内の個人開業医などが当番制（20ページ参照）で担当しています。

宇和の人が野村に運ばれたりその逆のことがあったり。入院のことを考えるとおかし

▼市内の二次救急は、西予市民病院と野村病院が交代で行っています。当番でない日は医師も、それを支える技師も帰宅します。どちらか一方の病院で365日二次救急を受け持つには、医師も技師も現状のままでは数が足りません。

西予市民病院に入院したとき「点滴が終わったけん外して」とナースコールしたのに「ちょっと待ってね」と待たされた
▼お待たせしてしまつてごめんなさい。そのとき容態が急変した患者さんを優先したためかもしれません。

西予の市立病院は職員も看護師も質が低く、専門の医師がいないイメージがあります

▼そのイメージは真実ではありません。確かに産科・小児科医は不在ですが、在籍する医師たちは全国の病院で経験を積み実績を残しています。三次救急病院が行っているような高度な手術（腹腔鏡手術など）も西予市でできます。質の高い看護師も揃い、認定看護師支援制度も充実。資格取得者が活躍しています。

先生、

いつでも診てくれる？

「病院に行ったら、いつでも診てくれる」
「激務？医師なんやけん診て当たり前やろ？」
医療従事者も人間です。心無い言葉や誤解、激務によって私たちと同じように心も体も傷つきます。中にはこの地を離れることを選ぶ人も…。
私たちの本音を前に医師たちの疲労はピークに達しています。



しんどさを覚えるもの

西予市民病院の内科で働く菊池良夫医師（55）の1日は、最長で38時間。平日の一般外来を診察後、翌朝まで夜間当直をこなし、そのまま外来診察や訪問診療を行っています。

「年なので当直の翌日はさすがにしんどいです。若い頃は夜中に起きてもすぐに寝付けていたんですけどね。50歳を過ぎたあたりから、疲れが抜けにくくなってきました。でも医師にとつて『しんどさ』を『やりがい』に変えるものがあるんです。それは患者さんとの人間関係。自分が信頼されていると思えばどんな仕事でもがんばれますし、やりがいを感じます」と菊池医師。50歳を過ぎると当直免除になる病院もある中、全国約4割の病院で年齢制限なく当直業務が行われています。医師不足のため、制限しては回らないという理由からです。

「診てもいいね」という誤解

「足の骨折をした人がいますが、新しい西予市民病院で手術ができないなんて、どうなっているの？野村病院で手術したみたいですけどね。骨折に對



応できない病院なんですかね。」
これは、救急体制に対して寄せられた意見（平成26年度まちづくり市民アンケート）の一部です。
市内では西予市民病院と野村病院が交代で二次救急を受け持っています（20ページ参照）。例えば10月なら「奇数日は西予市民病院、偶数日は野村病院」という風に。
一つの市立病院で常時二次救急に対応できればベストですが、それをするには医師数が足りません。もし無理にするとすると、医師たちは寝る間も帰宅する間もなく、365日働き続けな

ければなりません。そこで2病院で交代に受け持っているのです。
「骨折の手術が西予市民病院でできなかった。どうなっているの？」という意見は、二次救急の当番ではない病院に行ったため起こった問題だと考えられます。専門の医師も技師も不在なので、当番だった野村病院に案内したのでしょうか。
ちなみに、手術をするには最低でも2人以上の医師が必要です。当直の外科医は基本1人。「3時間前から痛みがあつて、ずっと我慢していた」と時間外に受診しても、当直医1人になつて

いたため手術ができなかったケースもあります。そういう場合、簡単な手術でも市立宇和島病院などにお願ひしなくてはならないのが現状です。
非番の日でも一次救急に対応するために医師が備えています。しかし、その医師ごとに専門分野があります。全ての症状に対応できるわけでは
ありません。そのため症状に合った病院に搬送しているのです。
「患者にとつてベストな医療を」との思いから、最もふさわしい病院に案

内したことが『どうしてここで診てもらえないのか』という不満となつて返ってくる。その繰り返しで疲弊している医師は、決して少なくありません。

菊池 良夫医師の1日



- 8:10 出勤
- 8:20 入院患者の病棟回診
- 8:30 人間ドック受け入れのため内視鏡室へ
- 8:48 ドック受診者3人の問診診察開始

- 9:04 研修医指導のため胃透視に立ち合い
- 9:15 研修医指導
- 9:30 経鼻内視鏡検査(鼻から通す胃カメラ)実施
- 9:37 研修医指導
- 9:48 ドック受診者3人へ、それぞれ結果説明
- 10:07 口頭での説明と併せてドック結果を患者へ郵送するための書類作成
- 10:40 腹部超音波検査2件、胃カメラ2件
- 12:20 昼食へ
- 13:00 地域連携カンファレンスに出席。ケアマネジャーや介護福祉士、訪問看護師などを含めた15人で患者の退院に向けて話し合い
- 13:35 大腸内視鏡検査を実施
- 14:00 外来診療開始。17時までの間に20人診療
- 17:05 休憩



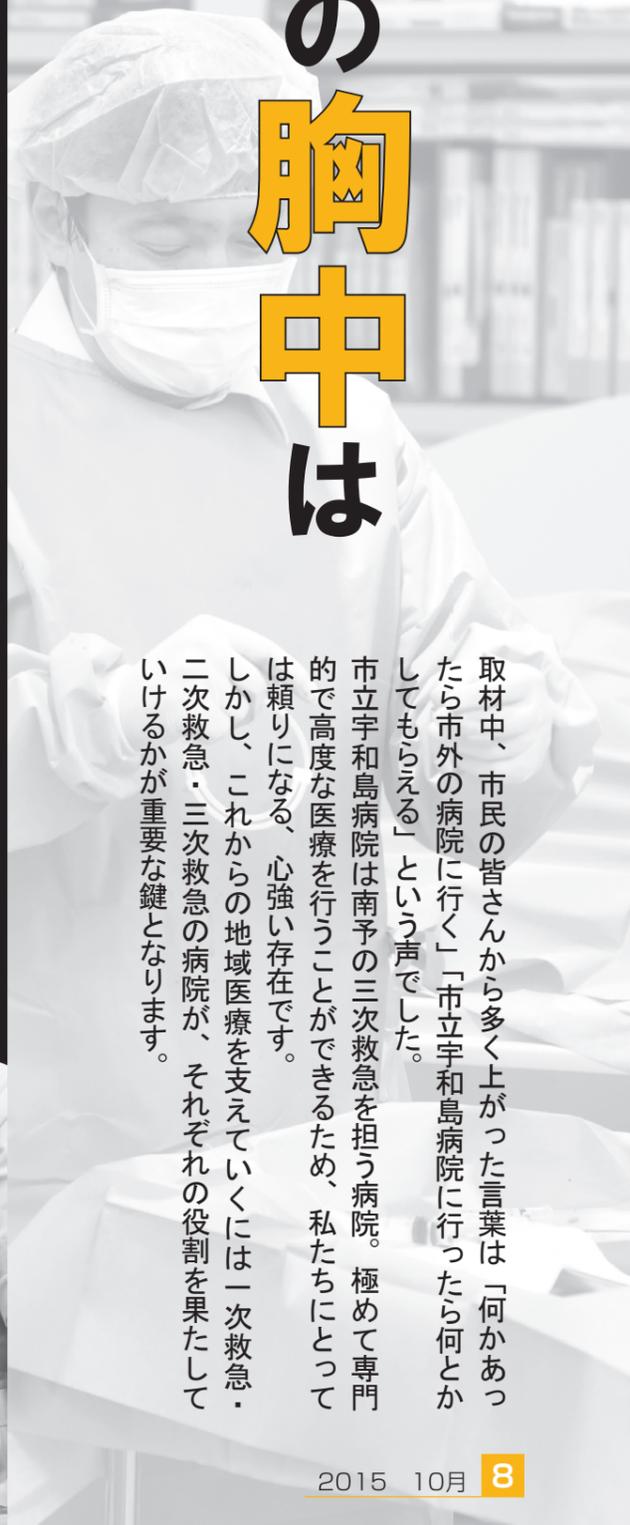
- 17:15 救急車が入るとの一報
- 17:38 救急車到着。腹痛を訴える重症患者。緊急手術が必要
- なため、市立宇和島病院に搬送
- 17:50 もう一台救急車が来るとの一報が入る
- 18:10 救急車到着。患者はふらつき歩行困難となった高齢者。経過観察のため入院手続きへ
- 18:45 夕食
- 18:55 入院患者の病棟回診
- 19:15 入院患者のカルテ記入(20人分)
- 20:15 電子カルテの承認処理(300件分)
- 20:45 介護保険や人間ドック報告書類の作成開始
- 0:03 腹痛を訴える外来患者Aが来院。問診のほか超音波検査、血液検査などを実施



- 1:24 救急車が入るとの一報
- 1:32 救急車到着。別室に移動した患者Aの様子を見ながら、腹痛を訴える患者Bの問診・検査開始。放射線技師も到着しCT検査実施。検査結果から判断し患者Bは入院へ
- 2:37 処置終了
- 3:30 就寝
- 4:42 病棟から電話。投薬指示
- 6:08 病棟から電話。投薬指示
- 7:30 起床・朝食
- 8:15 入院患者の病棟回診
- 8:30 外来診療開始。再び診療室へ

※1…医師専門サイト MedPeer (メドピア) に登録する医師 (6万人以上) を対象に「夜間当直の制限」という質問をしたところ、3129件の回答が寄せられた。「制限はない」という回答が最も多く38.6%。医師不足のため「制限しては回らないのが実情」といったコメントが目立ち、50代、60代で当直している例も少なくない。ちなみに西予市では月7回前後の当直をこなす医師もいる。

医師たちの胸中は



取材中、市民の皆さんから多く上がった言葉は「何かあったら市外の病院に行く」「市立宇和島病院に行ったら何とかしてもらえ」という声でした。
市立宇和島病院は南予の三次救急を担う病院。極めて専門的で高度な医療を行うことができるため、私たちにとっては頼りになる、心強い存在です。
しかし、これからの地域医療を支えていくには一次救急・二次救急・三次救急の病院が、それぞれの役割を果たしていけるかが重要な鍵となります。

「現場のモチベーションは高い
信頼を得ていく覚悟もできている」

西予市立西予市民病院 院長 末光 浩也

現場からの声

昨年西予市民病院がオープンして以降、現場のモチベーションは確実に上がっています。時には忙しくて、つっけんどんな言い方をしてしまうこともあるかもしれませんが、スタッフは精一杯業務に励んでいると自信を持って言えることができます。

これから皆さんの信頼を得ていくために、長い年月を要するだろうという覚悟もできています。確実に実績を積

み重ね、一つ一つ信頼を獲得していきより他に道はありません。

医師にはそれぞれ専門分野があるので、当院でできる治療には限界があるのは事実です。できることは全力でやります。しかし、どうしても治療できないことは市立宇和島病院や松山市内の病院に紹介します。目指すのは地域から信頼される病院。治療後には、また帰って来てもらえる存在になりたい

です。例えば市立宇和島病院で入院治療された場合、退院後には安心して当院に来ていただけます。

ちなみに医師確保は厳しく、綱渡り状態です。私は宇和町清沢の出身ですから、いずれふるさとの医療に貢献したいと思いつつながら、それまでずっと県外で働いていました。何度かお声掛けいただいて、5年前に「これが最後のチャンスかも」と思つて単身帰郷ですがもう50歳を過ぎ、年齢的にもあと10年働けるかどうか。進んでいく医師の高齢化も気がかりなところです。

すえみつ・こうや
1981年愛媛大学卒。岡山大学で学位を取得後、岡山大学附属病院などに勤務。2010年に宇和病院(当時)へ、翌年院長に就任。2014年9月から西予市民病院長。

現場からの声

「救われるのは『ありがとう』の一言
魅力ある地に人はもちろん医師も集まる」

西予市立野村病院 院長 守田 人司

医療従事者にとって最もつらいのは、いわゆるモンスターペイシエントと呼ばれる患者さんに攻撃されるときです。その点野村病院はそういう患者さんが少なく、これは愛媛県随一だと思えます。この地の住民は争いごとを好まず、穏やかな性格の人が多いからでしょう。診療後の「ありがとう」の一言に、ど

だけ救われているか分かりません。当院は114床の小規模病院ですが、教育に力を入れているのが特徴。年に10数人程度の研修医と、60人程度の愛媛大学医学部学生を受け入れています。他にも理学療法士、薬剤師、看護師の卵たちを多く指導。「指導する側として恥ずかしくない対応をしよう」という

気概が院内のモチベーションを上げ、結果的に住民へ良い医療を提供することにつながっています。田舎だからといって医療レベルは下げたくないという強い思いがあります。
「西予市に医療従事者が少ないのは、仕事内容がしんどいからではない」と個人的に思っています。例えば住みやすさが魅力の松山市は医師にとって人気の地。魅力ある地域になれば、人はもちろん医療従事者たちもおのずと集まってくると思います。

もりた・ひとし
1982年愛媛大学卒。同大学院で学位を取得後、1986年から野村病院勤務。1998年から現職。

隣町からの声

「地域病院としての使命感がある
頼りにされるのはありがたい」

市立宇和島病院 院長 梶原 伸介

今後ますます人口減少が進む中、南予全体で医療をどうにかしていかないといいません。患者の立場からしたら、一次・二次・三次救急なんて関係ないこと。「この病院にかかりたいから受診する」「行ったら何とかしてもらえええ」これが本音でしょう。地域にある病院の使命として、医師として、頼りにさ

れるのはありがたいこと。実際に市立宇和島病院では多くの西予市民を受け入れています。西予市民病院と野村病院には、二次救急患者をしっかりと診てもらっていると思います。大きな手術や詳しい検査、高度な処置が必要な患者は、今後私たちが責任を持って引き受けま

かじわら・しんすけ
1976年徳島大学卒。愛媛大学医学部付属病院や町立津島病院などを経て1980年に市立宇和島病院勤務。2010年から現職。

す。大切なのは役割分担。西予の市立病院には、これからも市民全員のかかりつけ医のような存在であってほしいと願っています。
ただ、私たち医師も人間。全て受け入れる気概はあっても限界があります。軽症の方は深夜の時間帯ではなく、通常の診療時間内に来院していただきたいという思いがあることも、少しだけ理解してもらえとうれしいです。

医療従事者は

誰が守る？

果たして医療はサービスマンなのでしょうか？
 私たちは本当に「患者様」なのでしょうか？
 「医師や看護師という『地域の宝』を守るのは、私たち住民です」と、地域医療先進地の藤本晴枝さん（千葉県東金市）は語ります。



夜、子どもが熱を出すたびに1時間かけて救急病院へ

「私は東京で生まれ育って、平成8年に千葉県東金市に越してきました。当時、子どもが夜中に熱を出すたびに連れて行ったのは、車で1時間程度のところにある救急病院。なぜなら近くの小児科では当直をしていなかったからです。子育てにくい土地だな、どうして専門の医師が少ないんだろう？と思っていました。」

こう語るのは、NPO法人地域医療を育てる会理事長の藤本晴枝さん。一時は2人まで減少した千葉県立東金病院（当時）の医師数を、11人まで増やしたキーマンの1人です。

「病院から医師が減っていることははっきりと知ったのは平成17年のこと。救急医療センター建設のためのシンポジウムに、子育て世代の女性代表として参加したことがきっかけです。私は医療従事者でも関係者でもないため、一人の母親として出席しました。

そこで医師や診療科が減ってきていることに対して、皆が不安を抱えていることを知りました」と藤本さん。

研修制度が変わったために医師が減ったという制度の説明はできても、これから先、どうやって増やしていくかを話せず「ご理解とご協力をお願いします」を繰り返す行政と医療関係者。その一方で「〜してほしい」「〜してくれない」と主張する住民。このシンポジウムでの住民・行政・医療関係者のやり取りが、藤本さんの中で強く印

象に残りました。
 どこにも解決策がないのなら

「千葉県は全国でも人口10万人あたりの医師数が下から2番目。東金市は千葉県の中でも医師数が最低の医療圏で、全国平均の半数でした。それなのにこれからはますます医師が減ってしまおうと言います。東金病院の院長からは『もう現場だけでは解決できない。住民側からもアクションを起こしてくれ

「昼間は仕事があるから」と言って
 夜間や休日に受診するのはマナー違反です！

「平日や昼間は仕事を休めないから」といって休日や夜間に受診するのはマナー違反だと思います。時間外の救急医療はあくまでも緊急事態に備えるものだから、限られた人数の医療スタッフで運営されているそうです。ぼくも看護師の卵。サッカー部で身も心も鍛えています。少ない人員でフル稼働が続くと疲れ果ててしまうかも。なので、調子が悪いときは早めに通常の診察時間内に受診してくださいね！

患者さんとの信頼関係があれば
 がんばれると思います

実習中、バイタルサイン（脈拍や血圧など）が上手に取れないときに「うまくできるまで何回でも付き合うよ」と患者さんに声をかけてもらったのに救われました。これから、知識も技術ももっともっと身に着けていって、将来は看護師として働きたいです。厳しい現場ですが、患者さんとの信頼関係があればうれしいし、がんばれると思いました。

西予市には、親切な人が多かったです！



未来の医療従事者たちの想い

今年6月、西予市民病院で3週間にわたって実習をした高橋さんたち。南予地域で唯一看護科のある帝京第五高等学校（大洲市）で、未来の医療従事者を目指し奮闘しています。地域医療を支える1人となるであろう彼らの想いとは。

厳しいことが当たり前だという覚悟はできました

実習中、ナースステーションに看護師さんがいないことが多くありました。どこに行っているかという、皆さん病室で患者さんのお世話や、その他治療の準備などをしていました。看護師1人につき、10人くらいの患者さんを担当していると聞きました。厳しいこと、忙しいことは当たり前という覚悟はできたので、これから何があってもがんばっていきたいです。

ないか」と話がありました。私は何か問題が起こったときに、批判するだけで人任せにすることが好きではない性分だったので、自分にできることを考えてみました」と藤本さん。

『何とかしろ』と文句を言うだけの人たちも、実情を知れば『じゃあどうしよう』と一緒に考える側に回ってくださると思っただけです。そこで、この地から今後どれだけ医師が減るかということをやママ友たちと一枚の紙にまとめ発行しました。すると大きな反響があつて、『地域医療を育てる会』を組織したんです。現場の大変さや、受診マナーを守ることの大切さを発信してからは、平成15年から増加傾向にあった軽症患者の救急搬送件数が減ってきました。これは、現場の負担を軽くすることに効果があります。」

藤本さんは語ります。「私たちは〜してくれと依存するだけでいいのではありませんか？行政や医療関係者だけが対策を考えなくてはならないのでしょうか？」

住民が、医師を守る

その後、東金病院には「ここで学びたい」という研修医が全国から集まってきました。

「今の若い医師にとって『ここで勉

強したら専門医になれる』という学会の認定が魅力的なんです。私たち住民のアクションと併せて、東金病院自体も内科学会の認定施設となる整備を進めた結果、医師が集まるようになりました」と藤本さん。続けて次のように話します。

「私たちの命や健康は、医師が守ってくれます。そういう医師や看護師たちを守るには、他でもない住民自身。彼らが『ここでがんばろう』と思える地域を作るのは、私たちの力だと思っんです。地域の大切な宝でもある彼らを、私たち住民の力で守っていかなくてはなりません。」

Profile 藤本 晴枝

東京での幼稚園教諭を経て平成8年に千葉県東金市へ。住民・行政・医療などさまざまな立場の人たちが互いに知恵と力を出し合うことこそ地域に必要なものから、平成17年に「NPO法人地域医療を育てる会」を設立。赤字経営で医師不足の千葉県立東金病院再建に市民の立場から尽力。市民と病院との良好な関係を築き、医師の育成や招へいにも積極的に動く。

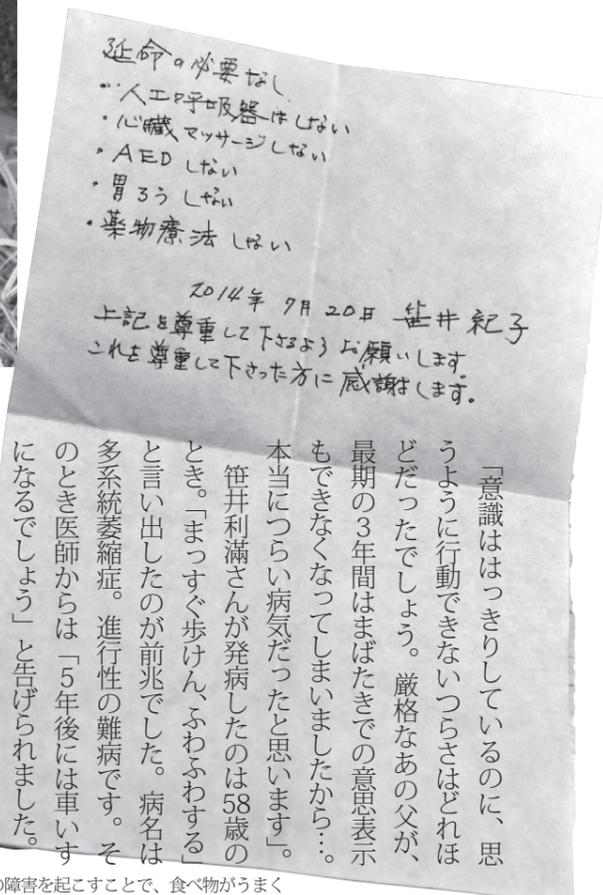


命の最期を考える

58歳で多系統萎縮症という難病を発症した笹井利満さん。それまでできていたことが一つ一つできなくなっていく姿を、家族は献身的に支え続けました。利満さんが旧宇和病院（現西予市民病院）に入院したあの日、急な決断を迫られた妻 紀子さんと娘 富美子さんだからこそ、普段から「命の最期」について話し合っています。



「私はもう親も主人も見送った身なので、いざというときに延命は希望しないと決めています。でも、若い人には回復の希望を持って医療と向き合ってほしいとも思っています。年齢や立場によって、命との向き合い方って変わりますね」と紀子さん。生前の利満さんの写真と一緒に。利満さんは動物が好きで、ゴールデンレトリバーの「レディ」をとともかわいがっていたそう。笹井 紀子さん（74） 宇都宮 富美子さん（50）＝宇和町永長＝



「意識ははっきりしているのに、思うように行動できないくらいさほどそれほどだったでしょう。厳格なあの父が、最期の3年間はまばたきでの意思表示もできなくなっていましたから……。本当につらい病気だったと思います」。笹井利満さんが発病したのは58歳のとき。「まっすぐ歩けん、ふわふわする」と言い出したのが前兆でした。病名は多系統萎縮症。進行性の難病です。そのとき医師からは「5年後には車いすになるでしょう」と告げられました。

宇和病院（当時）へ10回の入院

宇和島市に住んでいた笹井さん夫妻が娘富美子さん夫妻の住む宇和町に移ったのは、発病から2年後のこと。利満さんには歩きにくさのほかに、言葉が出にくくなったり、物が掴みにくくなったりする症状が現れていました。時間と共に、それまで当たり前前にできていたことが一つ一つできなくなっていく日々。医師の宣告どおり、発病から5年後には車いす生活に。その数年後には寝たきりになりました。「こちらに移った数年後、何かあったときに近い方が良かったらと市立宇和島病院から宇和病院を紹介してもらいました。それから夫が亡くなるまで

命の最期を話し合う

の間、宇和病院に入院した数は計10回。在宅時にはドクターに往診してもらったり、社会福祉協議会から週に1回入浴サービスに来てもらったり。平日には毎日、訪問看護ステーション東宇和から来てもらっていました。周りの皆さんに本当によくしていただきました」と紀子さんは当時を振り返ります。

突然迫られた選択

「あれは8回目の入院のときでした。朝、何だか様子が違います。急いでナーコールを鳴らしました。夫はたんを喉に詰めて、意識不明の状態。そのとき私たち家族には、呼吸器をつけるかどうかの選択が迫られました」。

人工呼吸器は一度つけると、例えその後植物状態となったとしても外すことができません。それを承知で家族は「つける」選択をしました。紀子さんは次のように話します。

「夫は意識不明で1分間に何十回もけいれんを起していました。その後奇跡的に回復して、呼吸器を外せるまでに。退院もしました。でも、これを機にまばたきでの意思表示ができなくなってしまうました。私たちの意思疎通が全くできない、植物状態となってしまうのです」。

利満さんが急逝したのは10回目の入院中、平成23年9月17日の午前7時半過ぎのこと。病院から急変を知らせる電話が鳴り、家族は急いで駆けつけました。

「夫が発病して14年。せつかくなら家で看取りたかった。最期は一緒に苦しんで、見届けたかった。私が送ってあげたかった。もう少し早く病院から電話があったら、という思いは正直あります。でも、本当によくしてもらったという気持ちは、未だに変わります。先生は『いつでも面会しますから』と言って受け止めてくれました。自宅での介護は大変でしょうと、レスパイト入院も受け入れてくれました。そのおかげで自分の時間ができ、より夫に寄り添うためのヘルパー講習を受講できました」と紀子さん。

「父を見てきたこともあって、母とは普段から最期について話し合っています。延命を希望しないのが母の意思。何かあったときのために、免許証ケースの中にメモ（右ページ）も携帯しているようです。でも実際その場になってみると希望どおりにできるかどうかは……。正直分かりません」と富美子さん。そして次のように続けます。

いきいきと生きて逝く

野村町で社会福祉協議会が開催している「生きがいディ」で、川本龍一医師は住民に「生きる」とことと「逝く」とことについて話しています。

「人は生きている限り、誰でも必ず死を迎えます。あなたは口から食べられなくなったらどうしますか？ポックリかジックリだったら、どちらの死に方がいいですか？どこで誰に介護されたいですか？



野村病院
川本 龍一
＝愛媛大学大学院
医学系研究科 地域
医療学講座教授＝

そのときに『こうしたい』という意思表示ができたから良いのですが、それができない場合、私たちは家族に『どうしますか？』と聞きます。希望があるなら、元気づけながら家族に『こうしてほしい』と話しておいてください。どこで誰に介護されたいか、最期はどこで迎えたいか、終末期医療の希望などを『生きて逝くノート』に書き込んでみましょう」

最期のときがきたら

最期になると呼吸の音が弱くなってきます。あえくような呼吸、不規則な呼吸になると、死が近づいたサインです。あわてないために、いつ医療者に連絡するかを事前に決めておけばほっとできると思います。落ちついて送り出すことができます。かけがえのない最期のときを過ごしてください。



※1…進行性で致死性の疾患。筋肉が硬直し、協調運動の喪失、体内機能（血圧や膀胱の制御など）の障害を起こすことで、食べ物やうまく飲み込めなくなったり、スムーズな動きができなくなり、転倒するなどの症状が現れたりする。我が国での230人の患者を対象とした研究結果では、それぞれ中央値として発症後平均約5年で車椅子使用、約8年で臥床状態となり、罹病期間は9年程度と報告されている。

未来につなぐ 命のバトン

「他のどこでもなく、この地にこの病院があつてよかつた」。

いつか親を看取り、パートナーを看取り、自分が看取られるとき、そう思う未来が訪れるかもしれない。

医療を守ることは、命を守ること。

地域の中核病院は「あつて当たり前」ではなく、医療従事者は「いて当たり前」ではなく、私たち一人一人が守り、はぐくみ、つなげていくものです。

このまちで生きて逝く、いとしい未来の命のためにも。

「最期は自分が安心できる景色の中で迎えられたら最高だと思います。私がかつたときを迎えるのは何十年先か分かりませんが、もし最期に医療機関に入院するとしたら、選択肢の中には西予市民病院があると思っています」と話す飯田純望さん。3年前、福岡から夫のふるさとである西予市にやって来ました。現在2児の母。次女千陽ちゃんを妊娠中に風邪をひき、宇和病院にかかった際に「医師や看護師に優しく声をかけてもらったことがうれしかった」とにっこり。このまちで母として妻として家族と共に生きる中で、日々医療の大切さを実感しているからこそ「子どもたちにつなぐにはどうしたら良いか」を考え始めたと言います。

生きていく私たちに一人の例外もなく、必ず「死」は訪れます。そしてそこに至るまでに、多くの場合医療が関わってきます。自分の生き方を考えるように、「死に方」についても考えてみませんか。死は本来、自然なもの。生まれることと同じくらいの尊厳があります。最期をどこで迎えたいか、終末期にはどのような医療を受けたいか、もし意思表示できなくなった場合にはどうしてほしいのか、ぜひあなたの大切な人と話し合ってみてください。

親から子へ、子から孫へと命のバトンをつなげていくように、医療も「つなげよう」として初めて未来に残せるものです。バトンは、私たち一人一人の手に握られています。「自分には関係ない。市外の病院にかかるしヒトゴトだ」と、それを遠くに放り投げてしまえば、西予の医療のこれからはより厳しいものになってしまいます。

親のため、自分のため、そして愛しい子の命のために、「生きていく」ととこれからの医療について、一緒に考えてみませんか。それはきっと、このまちでより良く「生きて逝く」ことにつながります。



「娘が将来このまちで母になったとき、確かな医療が身近に存在してほしいと切に願っています。住む場所を決める上で、ポイントにもなってくることだと思いますし…」と純望さん。

飯田 修司さん (32)
純望さん (32)
光春ちゃん (4)
千陽ちゃん (1)
＝宇和町下松葉＝

11/15 これからの西予の医療を考える集い

自分の「生き方」と「逝き方」を一緒に考えませんか？

「自分の生きてきた町で、安心して逝くために、今何を考え、どうするべきか」を市民・行政・医療が一緒になって考えるシンポジウムを開催します。詳細は次号の「広報せいよ 11月号」などお知らせします。

日時 11月15日(日)午後1時～

場所 西予市民病院

問 西予市民病院 ☎0894(62)1121



ジオガイドグループが訪問 姉妹市町の黒松内町（北海道）へ



黒松内町（北海道）との交流は、平成5年旧野村町が姉妹町提携を結んだことから始まりました。今日まで相互の交流人口は1千人超。大きな交流事業となっています。

生まれてきたつながりや絆の強さを再認識しようと、今年度はジオガイドグループが7/25～27まで黒松内町を訪問しました。以下感想です。

団長 久保田ナリ子さん

交流会では鎌田黒松内町長に歓迎のあいさつで私たちを迎えていただき、西予市との姉妹市町交流をどれ

だけ大事にされているかを感じました。今回の貴重な体験を、今後西予市の役に立てていきたいと思います。
副団長 三好くにこさん

交流を通して「美しい自然の解説者の重要性」を学びました。黒松内町で見聞きした情報、体験したこと、受けた接待、学んだガイドのいろはを、今後のジオガイドライフに生かしたいと思います。

山本瑤子さん

至るところに細やかな心遣いがありました。私はどこまでご恩返しできるのかと思っています。黒松内町の交流委員会の皆様に感謝の念でいっぱいです。温かなおもてなしに感動・感謝の念で目頭が熱くなりました。

山本綾子さん

交流会では四国西予ジオパークや国体のPRをしました。西予市と黒松内町、全く生活環境の違う自治体が、ブナの取り持つ縁でますます交流し、発展することを願っています。

河野美紀さん

最も興味があった「ブナ北限の里づくり」に関連した施設を見学できました。黒松内町が目指しているブナ林に囲まれた森林資源を活用し、いきいき暮らす田舎をつくるプロジェクトを体感できました。

西予市消防団 宇和方面隊 操法大会 田之筋と宇和がV

市消防団の宇和方面隊で7月26日、消防操法大会を宇和町小グラウンドで開催しました。

団員たちは気迫のこもった操法を披露。大会結果は次のとおりです。（優勝・準優勝チームのみ。敬称略）

第5回 宇和方面隊 消防操法訓練大会

小型ポンプの部（出場7チーム）

優勝 田之筋分団第2部

二宮 秀人、徳山 義晃、徳山 義通、河野 一道、石井 正夫

準優勝 宇和分団第6部

宮崎 孝次、宮崎 輝和、宇都宮 明三、竹田 哲志、鈴木 正明



8月13日「奥地の海のかーにばる」がみかめ海の駅周辺で開催され、県内外から約1万5000人が来場。湾内に浮かべたブイの上を、落下せずどれだけ早く渡り切れるかを競う海上カメ渡り（写真）や人間カーリングなど、地元の特長を生かした多彩なイベントを実施。

中でもヒラメやハマチといった高級魚をゲットできる「魚のつかみ取り」では、動き回る魚に悪戦苦闘しながらも真剣な表情で挑む参加者の姿が見られました。

第33回奥地の海のかーにばる ユニークなイベントに熱狂



町並みを手作りあんどんが照らす「卯のほたる」を卯之町の町並み保存地区で8月22日・23日の両日開催。住民手作りの約5000個のあんどんや創作明かりが、伝統的な町並みを優しく照らしました。

22日には浴衣姿の園児らがあんどんを持って町並みを歩く「きつねのさんぽ」を実施。年に1度の灯り遊びに誘われてやってきたという子ギツネ約100人が、幻想的な町並みに彩を添えました。

第12回卯のほたる 手作りあんどん町並みに



あけはまシーサイド・サンパークで8月2日「かっぱMATURI サマー in 明浜 2015」を開催し、約6000人が来場。地元産の海産物を使用した海鮮バーベキュー「虹のなぎさ焼き」やビーチバレー大会、フラダンスなど、夏の海を楽しみました。

同町は全国でも珍しい「河童の狛犬」があることで有名。これにちなんで毎年夏に「かっぱMATURI」を開催しています。

かっぱMATURI サマー in 明浜2015 真夏の明浜を満喫



宇和文化会館で7月26日「四国西予ジオサマーフェスティバル」を開催。四国西予ジオパーク展示やジオの恵み物産市、市民劇団「もんたかな」の公演なども開かれ、多くの人でにぎわいました。

野村町出身で歌手の Yurica. さんのコンサートも実施。市内の各小中学校で歌われるほど人気の西予市歌「いつの日も」を熱唱すると、会場の参加者たちの多くが一緒になって口ずさんでいました。

四国西予ジオサマーフェスティバル Yurica. さんが西予市歌を熱唱

図書館だより
問 市民図書館
☎0894(62)6420

怪談BGMに合わせた耳なし芳一

野村分館
「夜のおはなし会」を野村分館で実施。「日吉小おはなしの会」の皆さんが、怪談BGMに合わせて「耳なし芳一」を語りました。



灯りを落とした薄暗い部屋でのひととき。平家の悲哀を語り継ぐ琵琶法師 芳一の物語は多少の難しさがあったかもしれませんが、作者 小泉八雲による原文だったため、そこそこ長時間でしたが、誰一人退出することなく最後まで耳を傾けていました。

三瓶分館
利用者の方々から好評だった本を紹介します。
◎「しない生活」小池龍之介(著) 幻冬舎(発) …著

者は山口県出身の住職。煩惱を静めるためのヒントが満載です。
◎「手ぬいで作るきものリフォーム」高橋恵美子(著) 日東書院(発) …懐かしい着物を手縫いでチュニックやポーチに作り替える方法が紹介されています。型紙には直接、印などは付けずにご利用ください。
◎「甘味屋十兵衛子守り剣」シリーズ全5巻。牧秀彦(著) 幻冬舎(発) …幕末の江戸を背景にした、わけあり菓子匠の物語。文庫本なので手軽に楽しめる大好評です。

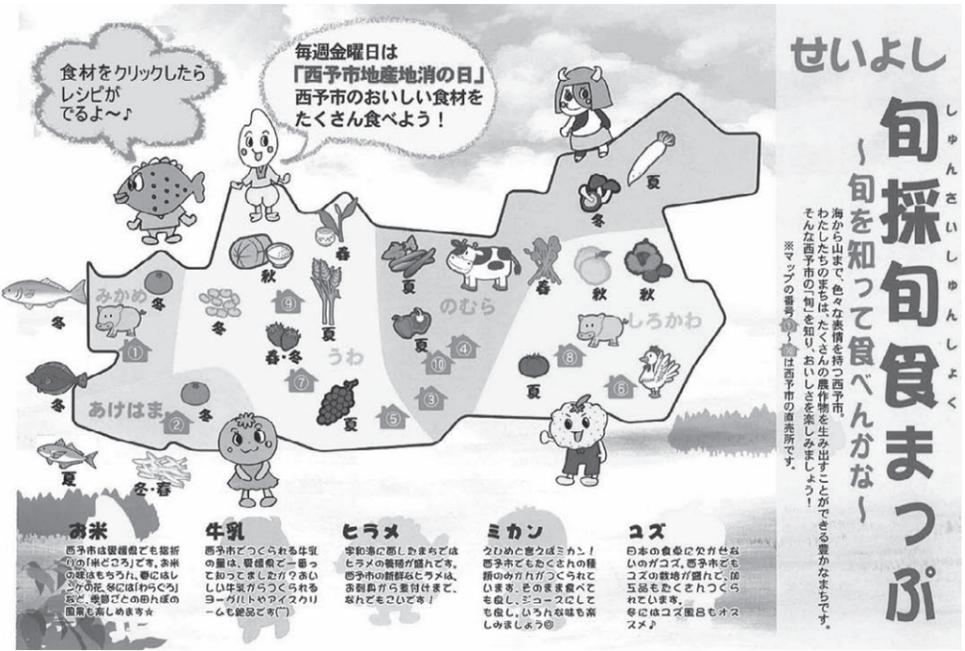
新書紹介
夏の疲れが出やすい時期です。元子どもだった大人の皆さんに、読んで笑って元気になれる1冊を紹介します。
「子どもはみんな天才だ！」ひすいこたろう(著) PHP研究所(発)



「旬採旬食まっぷ」でおすすめレシピをチェック

山と海と豊かな自然に恵まれ、海拔0mから標高1400mの標高差と県内2位の面積を有している西予市。四季それぞれの地域で採れる農作物や海産物は、1年を通しておいしく食べることができます。

そんな西予市の旬を紹介するのが「旬採旬食まっぷ」です。おいしくて栄養価も高い旬の食材を知り、西予の恵みを味わってみませんか。
金曜日は西予市地産地消の日です。市内の産物を積極的に食べましょう。「旬採旬食まっぷ」は市ホームページに掲載しています。食材をクリックすると、おすすめレシピが閲覧できますよ！



保健だより
問 健康づくり推進課
☎0894(62)6407

文化財だより
問 文化体育振興課
☎0894(62)6416

お伊ネさんも歩いた？ 笠置峠

山がちな西予市では峠道が発達しています。今は忘れられつつありますが、山中にはいくつもの道が張り巡らされていました。

宇和盆地と八幡浜市釜倉をつなぐ笠置街道もそのひとつです。ここはシーボルトの娘 お伊ネさんが14歳で長崎から卯之町を訪れたときに越えた道と言われます。近年の調査では宇和島藩主(5代村候公など)が参勤交代のときに、この道を利用したことが明らかにされています。また、遍路墓や札所の距離・方角を示した道しるべ、遍路にまつわる伝承などが残されていることから、遍路道としても利用されていたことが分かります。

ふもとの岩木からは、奈良時代の寺院や役所関連の遺跡が見つかっています。地区内の寺院に残る中世の大般若経は、八幡浜で書写され岩木にもたらされたものです。こうしたことから、笠置街道の利用はとても

古い時代にさかのぼる可能性もあります。現在、市教育委員会では、笠置峠を文化庁の「歴史の道」として史跡に指定し保存するために、測量や石造物の調査をしています。

笠置峠を歩いてみませんか 10/25 駅からウォーク「笠置街道をゆく」

お伊ネさんも歩いたといわれる笠置街道を歩き、西南四国最古の「笠置峠古墳」などを巡るイベントを実施します。歴史ロマンあふれる全長 8.6 キロのコースをおたのしみください。

日時 10月25日(日)
午前9時30分までにJR伊予石城駅前集合
参加費 500円(昼食代・保険代)
申込方法 10月16日までに電話かFAXにて
申込先 市教育委員会 文化体育振興課
☎0894(62)6416 FAX: 0894(62)6591

住宅火災から命を守ろう

火は私たちの生活になくてはならないものです。しかし、その使い方を間違えると火災となって、大切な命を奪います。住宅火災による死者を防ぐためには、家庭内での対策が必要です。

死者数の傾向
平成16年の消防法改正により、住宅用火災警報器の設置率は全国で約8割に。住宅火災での死者数は、年々減少傾向にあります。

しかし、その一方で65歳以上の高齢者の死者数は横ばいとなっていて、全体の約7割を占めています。

- 死者発生の原因**
西予市消防管内では過去5年間に住宅火災による死者が8人発生。その内65歳以上の高齢者は4人で全体の5割を占めています。主な発生原因は次のとおり。
- ◎逃げようとして逃げ切れなかった
 - ◎判断力にかけ、逃げる機会を失った
 - ◎足腰が弱く避難が遅れた
 - ◎避難後、再び建物内に入った

◎避難中に煙を吸って倒れた

高齢者は火災を発見しても適切な判断ができないことがあり、さらに足腰が弱いと行動が遅く、逃げ遅れることがあります。
家族で確認！命を守る8つのポイント

- ①火災発生防止のために、お年寄りや病気の、幼児だけを残して外出しない
- ②高齢者や体の不自由な人の寝室は、1階の出入りに近い場所にする
- ③方向の異なる2つ以上の逃げ道を決めておく
- ④カーテンや布団などの寝具はできるだけ防災製品を使用する
- ⑤就寝前に火の元を確認する習慣をつける
- ⑥火災を発見した時は大声で近所に協力を求める
- ⑦服装や持ち物にこだわらず、早く避難する
- ⑧外へ避難したら、建物内には戻らない

消防署だより
問 消防本部
☎0894(62)0119

アスリート部門

2015全日本ジュニア・ユース編り選手権大会（8月2日、東京都駒沢オリンピック公園総合運動場体育馆）〈男子320kg以下の部〉3位：宇和町JMAX

第31回全国小学生陸上競技交流大会最終選考会（7月18日、松山市ニンギニアスタジアム）〈女子走り高跳び〉1位：松本芽依（宇和町小6）1m25cm〈男子6年100m〉3位：谷川智哉（宇和町小6）13秒46〈男子4×100mリレー〉2位：宇和町小陸上クラブ（権田尚士、谷川智哉、清家由、大塚龍登）55秒65

第67回愛媛県中学校総合体育大会（7月19日～24日、県武道館ほか）〈柔道個人男子90kg超級〉1位：稲田亮樹（宇和中3）〈柔道個人女子70kg級〉2位：井上希実（宇和中3）3位：稲田愛華（宇和中1）〈柔道個人女子70kg超級〉2位：毛利かえで（宇和中2）〈男子1年1500m〉1位：松崎太星（宇和中1）4分31秒12、3位：櫻井琳汰（宇和中1）4分33秒93〈男子三段跳び〉1位：兵頭直起（宇和中3）12m52〈陸上男子総合〉1位：宇和中男子〈バドミントン女子個人ダブルス〉2位：長壁杏実（宇和中3）、二宮南菜花（宇和中2）〈相撲個人〉3位：松田龍衛（野村中3）〈相撲団体〉3位：野村中相撲部〈男子走り高跳び〉1位：田野禎貴（城川中3）1m85cm〈男子200mバタフライ〉3位：三浦真誉（宇和中2）2分19秒02〈女子200mバタフライ〉1位：上窪日向子（宇和中2）2分29秒51〈女子100mバタフライ〉3位：上窪日向子（宇和中2）1分08秒72〈女子200m自由形〉1位：三好温子（三瓶中2）2分09秒96〈男子200m自由形〉3位：本田真仁（三瓶中3）2分08秒85〈女子100m自由形〉3位：三好温子（三瓶中2）1分00秒70

第53回四国中学校総合体育大会（8月1日～2日、高松市総合体育館ほか）〈柔道個人男子90kg超級〉2位：稲田亮樹（宇和中3）〈柔道個人女子70kg級〉3位：稲田愛華（宇和中1）〈男子1年1500m〉3位：松崎太星（宇和中1）4分29秒06〈相撲団体〉3位：野村中相撲部〈男子走り高跳び〉1位：田野禎貴（城川中3）1m76cm〈女子200m自由形〉3位：三好温子（三瓶中2）2分11秒34

第61回全日本中学校通信陸上競技愛媛県大会（7月5日、県総合運動公園陸上競技場）〈男子1年1500m〉1位：松崎太星（宇和中1）4分36秒69

南海放送旗争奪第29回愛媛県ジュニアソフトボール大会（8月15日、別府市民運動広場）優勝：三瓶ジュニア

アーティスト部門

第63回全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会（8月2日、松山市民会館）〈高等学校B部門〉金賞：野村中学校吹奏楽部

「婚活大学」受講生募集

コミュニケーションや交際力の向上など、成婚のコツを学ぶ「婚活大学」を開催。参加無料です。申し込みはお電話かメールにて。

問 えひめ結婚支援センター（婚活大学宛）

☎089(933)5596 メール：office@msc-ehime.jp

コース名	定員	会場	基礎編	応用編①	応用編②
			・婚活応援ガイド ・結婚の仕方 ・自分を磨こう ・原石を探そう	・ビッグデータ ・データ分析情報 ・ワーク ・まとめ	【男女合同開催】 ・おさらい ・ワーク ・コミュニケーション体験
南予女性コース	15人	大洲喜多法人会	10/25(日) 午前10時～正午	11/15(日) 午前10時～正午	12/6(日) 午前10時～正午
南予男性コース	15人	大洲喜多法人会	10/25(日) 午後1時～3時	11/15(日) 午後1時～3時	

募集



NPO法人れんげ草職員

まっぴ共同作業所で勤務する障害者通所施設の補助指導員を募集します。

勤務日数 週3日

勤務時間 午前9時30分～午後5時30分

資格 普通運転免許

募集期限 10月30日（金）

問 まっぴ共同作業所
☎0894(62)4543

求職者と求人企業のマッチングの場 **合同就職面接会の参加企業**

お知らせ



として開催する「西予市合同就職面接会」の参加企業を募集。参加料無料。申し込みはお電話にて。

日時 11月26日（木）
午後1時30分～4時

場所 宇和文化会館 中ホール

参加企業 市内外から20社程度

問 地域雇用創造促進協議会事務局（経済振興課内）
☎0894(89)1375

現在、正午の時報で流れている西予市歌「いつの日も」のオルゴール版を、10月1日からバージョンアップします。

昼の時報バージョンアップ

この歌は野村町出身の歌手Yuricaさんが作曲を手掛けたもの。ホームページからもダウンロード可能です。ぜひ聴いていただき、正午の時報にも耳を傾けてみてください。

問 市役所まちづくり推進課
☎0894(62)6403

田穂地区の景観計画を策定

「にほんの里100選」や「日本の棚田百選」にも選ばれている田穂地区（城川町）の景観計画を策定しました。これから一定の行為に対する届出や景観形成の基準などを定め、地域特性を生かしたまちづくりを推進する計画です。内容は市ホームページや建設課城川支所産業建設課で確認できます。

問 市役所建設課
☎0894(62)6410

消費生活センターだより

多重債務に悩んでいませんか？

複数の金融業者から自分の返済能力以上のお金を借りることを「多重債務」といいます。無計画にクレジットカードを利用しすぎたり、事故や病気でお金が必要になって借金を繰り返したり…など、ちょっとしたきっかけで誰でも陥る恐れがあるのが多重債務の怖いところです。

アドバイス

◎ヤミ金は絶対利用しない

ヤミ金融は高金利で貸し付けたり、融資の保証金と称してお金をたくさんだまし取ったりする違法金融業者です。「即日融資」「低金利」「審査なし」など甘い宣伝文句に警戒しましょう。

◎返済のための借金はしない

借金返済のために借金をすると、あっという間に多重債務に陥ってしまいます。特にヤミ金融は多重債務者の弱みに付け込んで近付いてくるので、注意が必要です。

◎多重債務には解決方法がある

万が一、多重債務に陥ってしまった場合でも解決方法はあります。相談内容が外部に漏れることはありません。1人で悩まず、できるだけ早く消費生活センターなどへ相談しましょう。

問 市消費生活センター ☎0894(62)1285

警察署だより

「だまされたふり作戦」にご協力を

こんな電話は詐欺です

このような電話があつたら、1人で判断せず、家族や警察に相談しましょう。

「「レターパック」や「宅配便」で現金を送ってください」「パンフレットが届いた人しか買えないので代わりに買ってください」「おしだけど…電話番号が変わった」「医療費や税金の還付金があります」「必ずもうかりますので、未公開株や社債を買いませんか」

特殊詐欺にだまされない対策

◎留守番電話機能付きの電話を購入し、在宅時にも留守番電話に設定しましょう

◎電話帳から名前を削除しましょう。本人がホームページセンター（☎0120-506309）に電話すると手続きできます

◎犯人からの電話には「警察官の親」になりきってください

◎だまされたふりをして電話の内容や犯人の電話番号をメモし、一旦電話を切った後すぐに西予警察署にご連絡ください

問 西予警察署 ☎0894(62)0110

休日当番医

変更となる場合があります。念のため医療機関へ確認の上、お出かけください。

市内救急病院

二次救急（平日夜間および休日）

10月	奇数日が西予市民病院
	偶数日が野村病院

西予市民病院 ☎0894(62)1121

市立野村病院 ☎0894(72)0180

二次救急は中症～重症患者の受け入れをする医療機関です。検査・入院・手術が必要な場合に備え医師と外来看護師が当直し検査・放射線の技師が待機して救急医療にあっています。

宇和・明浜地区

10月4日(日)	松葉診療所 (卯之町一丁目) ☎0894(62)0688
10月11日(日)	二宮医院 (卯之町二丁目) ☎0894(62)0144
10月12日(月)	ささき皮フ科クリニック (卯之町二丁目) ☎0894(89)2233
10月18日(日)	矢野整形外科 (卯之町三丁目) ☎0894(62)6698
10月25日(日)	かどた医院 (卯之町五丁目) ☎0894(62)6722

野村・城川地区

10月4日(日)	井関医院 (野村町野村) ☎0894(72)0030
10月11日(日)	野村病院 (野村町野村) ☎0894(72)0180
10月12日(月)	野村病院 (野村町野村) ☎0894(72)0180
10月18日(日)	おか医院 (野村町阿下) ☎0894(72)3456
10月25日(日)	野村病院 (野村町野村) ☎0894(72)0180

三瓶地区

10月4日(日)	八幡浜急患センター (八幡浜市大平) ☎0894(24)1199
10月11日(日)	八幡浜急患センター (八幡浜市大平) ☎0894(24)1199
10月12日(月)	八幡浜急患センター (八幡浜市大平) ☎0894(24)1199
10月18日(日)	八幡浜急患センター (八幡浜市大平) ☎0894(24)1199
10月25日(日)	八幡浜急患センター (八幡浜市大平) ☎0894(24)1199

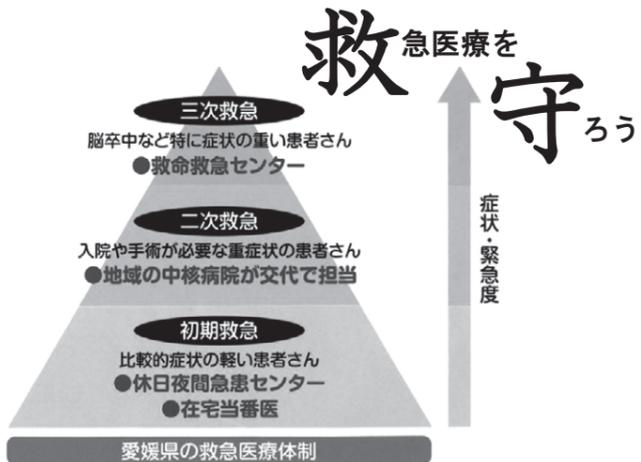
小児科

10月4日(日)	ごう小児科医院 (大洲市西大洲) ☎0893(24)3936
10月11日(日)	みかんこどもクリニック (八幡浜市白浜通) ☎0894(20)8800
10月12日(月)	亀井小児科 (大洲市東大洲) ☎0893(24)3757
10月18日(日)	八幡浜急患センター (八幡浜市大平) ☎0894(24)1199
10月25日(日)	おおむら小児科 (内子町城廻) ☎0893(44)7117

小児在宅当番での外科治療は対応困難なため、けがなどの場合は当日の外科系当番医か救急病院をご利用ください。

西予市民病院の婦人科 外来日程変更

10月からの婦人科外来診療日程は下のとおりです。毎週月曜日 午後2時～ ※予約制



症状に応じた役割分担で命を守っています

近年、休日や夜間の救急病院に軽症の患者さんが集中し、医師をはじめ医療従事者たちの負担が増えています。安易な救急車の呼び出しで出動回数が増加し、重症な患者さんの搬送に困るケースも増加しています。

このままでは適切な医療が受けられなくなる恐れがあります。そうならないために1人1人が「愛媛の救急医療を守る143万人の県民運動（愛救143運動）」を実践しましょう。

普段から3つの心がけ

- ①日頃から「かかりつけ医」を持ちましょう
- ②健康診断や健診で病気の予防や早期発見をしましょう
- ③家庭で薬を常備しましょう

受診の3つの心がけ

- ①なるべく通常の診療時間内に受診しましょう
- ②救急車で搬送されても軽症の場合は通常の受付順となる場合があることに留意しましょう
- ③比較的軽微な症状の場合は休日当番医（20ページ）を利用しましょう。「広報せいよ」に毎号掲載しています

軽症だけど受診したい場合は

「えひめ医療情報ネット」で受診できる病院を検索してください。インターネットで「えひめ 医療」と入力すれば探せます。消防署（☎62-0119、三瓶地区は☎33-3349）に問い合わせても可。必要な情報がもらえます。お子さんの急な病気やけがの場合は小児救急医療電話相談（#8000）を利用してください。

問 市役所 健康づくり推進課 ☎0894(62)6407

「5年の後納制度」開始

過去5年以内に納め忘れた国民年金保険料を納付することで将来の年金額を増やすことができる「後納制度」を、10月1日から3年間限りの特例として開始します。（老齢基礎年金受給している人などは利用できません）



後納制度の利用には申し込みが必要です。詳しくは国民年金保険料専用ダイヤル（☎0570-011-050）にお問い合わせください。
※「10年の後納制度」は9月30日で終了します。

問 宇和島年金事務所
☎0895(25)5440

屋外広告物のルール守って

屋外広告物（野立広告物、壁面広告物、懸垂幕やアドバルーンなど）を掲出する際には許可が必要です。エリアによって掲出できる大きさや高さにも基準があり、一定の規制をしています。必要な許可を受けていない場合は条

例違反となります。詳しくはお問い合わせください。

維持管理を怠っていませんか
老朽したり破れたりした看板など、管理が行き届いていない広告物が見られます。広告掲出者は修繕や撤去など、適切な維持管理をしてください。

平成29年のえひめ国体に向けて、来市者が再び訪れたいと思う西予市にするため、屋外広告物のルールを守り景観の整った魅力あるまちにしましょう。

問 市役所建設課
☎0894(62)6410

市施設で太陽光発電

市施設の屋根や敷地を貸し出し、その収入を市民のために役立てようと、今年度「市の公共施設を使った太陽光発電事業」を行います。

これは市内にある公共施設の内、設置可能な施設を選んで太陽光発電を行うもので、3月に発電事業者の株式会社ウエストエネルギーソリューション（広島県・奥田英久代表）と基本協定を結び、準備を進めています。今後ウエスト社は再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、売電した価格の一部を市に納めます。市の収入見込みは、買取期間20年間で

最大4万円お得な参加券

「西予インターネット等利用促進プロジェクト参加券」を10月1日から販売。1枚5千円で、7千円分の利用が可能。最大20枚まで購入でき、市内の取扱店で使用できます。



対象商品
◎西予CATVのケーブルテレビサービス・インターネットサービスの利用に必要な引込工事

4千万円程度。ウエスト社では太陽光発電設備を使って子ども科学教室を開催し、クリーンエネルギーの啓発活動を進めます。非常時に利用できる設備も設置していくこととしています。

設置する施設
遊子川公民館、惣川小学校、大野ヶ原小学校、魚成小学校、城川中学校、三瓶小学校、野村保健福祉センター、わんぱくランド、城川保健福祉センター、西予市市民図書館、宇和児童館、蔵貫保育所

問 経済振興推進課
☎0894(62)6408

薬は正しく服用を

10月17日～23日は「薬と健康の週間」です。服用するときには次のことに注意して安全かつ効果的に使ってください。



用法・容量を守る
自分の判断で使用量や回数を増減してはいけません。たくさん飲めばよく効くというわけではなく、決められた量以上を服用すると副作用が出る場合があります。

服用時間を守る

◎インターネットに利用する情報端末（パソコン・タブレット・スマートフォン）
販売期間 10月1日から発売まで
使用期間 10月1日～平成28年1月31日
販売場所 市商工会（本所・支所）土日祝日・年末年始は休館。明浜支所は木・金曜日も休館

問 市役所情報推進課
☎0894(62)6404

広報文芸

川柳

川柳宇和吟社
時間かけ選んだ品を置き忘れ
西河百合子

なでしこを揺らす蜜蜂サポーター
中田 孟利

食卓に自慢の野菜並ぶ朝
垣内 寧子

川柳のむら
人様が誉める棚田にある苦労
佐藤とみえ

並ですが私地球にひとりだけ
池田 富子

ゆっくりで良いから明日に立ち向かう
小玉 三重

短歌
宇和短歌会
八十八歳の誕生日今日迎へたり両手をあはす祖先の霊に
末光 翠峰

新盆の飾りつけする八畳間夫の遺影を朝日がつつむ
橋本 友恵

十三歳で敗戦日本に引き揚げて七十年経つ吾も八十路に
片山 栄子

俳句
高山海月俳句会
好きな事好きだけにして暑に耐える
岡崎 豊子

蚊遣香坐禅する子の傍らに
宇都宮諦愚

しなやかに踊る阿保の足さばき
川口 京仙

宇和柿句会（宗一選）
千切れたる雲も動かぬ猛暑かな
石野 桂子

道をしへ人待つしぐさ繰返す
黒田 美穂

地業杭打てる響きや雲の峰
西川キヌエ

ひろば句会（カホル選）
カレー炊く匂ひ朝から夏休み
沖野 恭子

語り継ぐ平和の誓ひ終戦日
河野 光代

夢掴みヒット誓ひし夏球児
堀田 美和

れんげ草句会
工事夫の語りみてすぐ三尺寝
河野 安永

スタジアム球児入場みな日焼
萩森 静美

忘れ物さがしにもどる日永かな
兵頭 貞一

中川俳句会
少年の光を散らす夏の川
玉井喜三郎

桐一葉母の思いの尊さを
玉井アツ子

絶ゆるなき名水豊か稲の花
末光恵美子

さわらび句会
ゆっくりと山越へて行く雲の峰
大塚賀志恵

友一人一葉落つごとと逝かれけり
芝元 悦子

食薄し甘酒ゆるり喉に落ち
松本るみ子



ナースセンター移動相談

保健師・助産師・看護師・准看護師の免許取得者が対象。仕事の相談や就業相談、情報提供(ナースセンター登録、潜在看護師等の研修、看護の進路情報、看護協会についてなど)を行います。

会場	時間	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ハローワーク大洲(第4火曜日)	午後1時～3時30分	22	27	24	22	26	23	22
ハローワーク八幡浜(第3火曜日)		15	20	17	15	19	16	15
ハローワーク大洲(第4火曜日)		8	13	10	8	12	9	8

問 愛媛県ナースセンター(公益社団法人愛媛県看護協会内)
☎089(924)0848

行政相談員にご相談を

総務大臣から委嘱された行政相談委員

野村公民館

10月19日(月)午前9時～11時

総合センターしろかわ

10月22日(木)午前9時30分～正午

三瓶支所

10月20日(火)午後1時～3時

人権相談

野村公民館

10月13日(火)午後1時～3時30分

三瓶支所

10月13日(火)午前9時30分～正午

員が皆さんと役所のパイプ役となつて、道路や交通安全、登記、消費生活、社会福祉、公害対策などの行政サービス改善に関する意見や相談に乗ります。10月19日～25日は「秋の行政相談週間」です。市の行政相談委員まで、お気軽にご相談ください。

市の行政相談委員

- 上田甚正さん(明浜地区)
- 西田光和さん(野村地区)
- 宇都宮久幸さん(三瓶地区)
- 菊池 邦子さん(宇和地区)
- 兵頭 三樹さん(城川地区)

問 市役所総務課
☎0894(62)6400

司法書士の無料法律相談

不動産の相続、売買などの登記や供託の手続き、訴訟手続き(書類作成など)、債務整理、遺言、公正証書の作成を中心に、関連するさまざまな相談もお受けします。

無料司法書士法律相談は、10月1日からの法の日の週間行事として、県土地家屋調査士会や松山公証人会と共催で行うものです。

日時 10月3日(土)
午前10時～午後2時
場所 教育保健センター4階

結婚相談

教育保健センター

10月5日(月)午後4時～7時

総合センターしろかわ

10月20日(火)午後2時～4時

心配ごと相談

市社会福祉協議会 宇和支所

10月13日(火)午後1時～3時

野村保健福祉センター

10月27日(火)午後1時～3時

市社会福祉協議会 三瓶支所

10月19日(月)午後1時～3時

全国一斉！法務局休日相談

土地・建物・会社などの登記、戸籍供託や人権問題、土地の境界、遺言や公正証書に関する相談に応じます。相談無料、秘密厳守。

事前予約なしでも可能ですが、当日は混み合うことが予想されるため、事前予約をおすすめします。

日時 10月4日(日)
午前10時～午後3時
相談担当者

法務局職員、公証人、司法書士、土地家屋調査士、人権擁護委員
会場と予約先電話番号
エミフルMASAKI

☎089(932)0888
松山地方法務局宇和島支局
☎0895(22)0770

社会保険労務士の無料相談

毎年10月の「社会保険労務士制度推進月間」にちなみ、県内5カ所無料で相談会を行います。

公的年金、健康保険、労働保険、労働条件、解雇、退職、セクハラ、パワハラ

介護・福祉・認知症相談

市社会福祉協議会 宇和支所

10月5日(月)午後1時～3時

野村保健福祉センター

10月28日(水)午後1時～3時

市社会福祉協議会 三瓶支所

10月19日(月)午後1時～3時30分

法律相談(予約制)

老人福祉センター(明浜町)

10月16日(金)午前10時～午後3時

予約先・市社会福祉協議会明浜支所
☎0894(69)8066

ハラ、労使関係のことなど、お気軽にご相談ください。
日時 10月25日(日)
午前11時～午後5時
場所

イオン松山店(1階南入口)、フジグラン松山(1階グランドーム西側入口)、イオンモール新居浜(2階T5 UTAYA前)、フジグラン今治(1階シースルーエレベーター前)、オズメッセ21(1階Aコープ入口)

問 愛媛県社会保険労務士会
☎089(907)4864

生活が苦し...

生活困窮・高齢・介護・障がい・子育て・健康問題などで悩んでいませんか。何でもご相談ください。

フリーダイヤル(無料)
0120(717)670
問 市福祉総合相談センター
☎0894(62)1150

行政相談

高山公民館(明浜町)

10月20日(火)午前9時30分～正午

市役所 1階相談室

10月8日(木)午前10時～午後2時

市社会福祉協議会 宇和支所

10月23日(金)午後2時～4時

予約先・市社会福祉協議会宇和支所

☎0894(62)2000

野村保健福祉センター

10月20日(火)午前10時～午後3時

予約先・市社会福祉協議会本所

☎0894(72)2306

市社会福祉協議会 三瓶支所

10月19日(月)午後1時～3時30分

予約先・市社会福祉協議会三瓶支所
☎0894(33)3046

よ! せい坊 43 榎本学が



「せい坊」オフィシャルホームページ
<http://www.seibou.jp/>
 ぼくの絵本、1冊1000円で販売中だよ!!
 ☎0894(62)6408

市民のうごき (8月末現在)

※カッコ内は前月比

人口	40614人(-67)
男	19088人(-23)
女	21526人(-44)
世帯数	18535世帯(-20)
出生	16人(-1)
男	9人(+1)
女	7人(-2)
死亡	54人(+2)
男	30人(-3)
女	24人(+5)

※H24.7.9住民基本台帳法改正により、外国人を含む人口・世帯数を記載しています

編集後記

医師の当直業務(P7)にも密着しました。現場に入って取材をするたび、体はふらふらに…。元看護師の友人に「こんなにハードやと思わなかった」と泣き言を言うと「それが日常やけんあ」とピシヤリ。医療従事者たちの原動力は、患者さんからの「ありがとう」の一言だと知り、「それなら何百回でも何千回でもありがとうと言いたいよ…」と思った私です。

この地で二次救急の受け入れ先になっている西予市民病院と野村病院。命の最期を考えたとき、親も夫も私自身も、この先お世話になるかもしれません。まさしく「ジブンゴト」。11/15の集い(P15)にもヒトゴトではなく、参加したいです。(堀)

イベント情報

10/2(金)
子育てサロン スキップ Club
パン作り
時 午前10時～11時30分
場 宇和児童館「うわっこ」
☎0894(62)7331

10/18(日)
第20回全日本女子相撲選手権大会
第12回全日本中学生女子相撲大会
第18回全日本小学生女子相撲大会
女子相撲最大! 3つの全国大会を同日開催。
西予市からも出場予定。
時 午前9時30分～
場 乙亥会館
☎ 文化体育振興課
☎0894(62)6416

11/14(土)
「おイネ号」で旅をしよう!
参加者募集。障がいのある人や高齢者などが
ボランティアと一緒に旅を楽しみます。今年
はアサヒビール四国工場見学など。募集期間は
9/28～10/23
定 大人(高校生以上)3000円、
中学生以下(幼児含む)1500円
定 85人(先着順)
☎ 社会福祉協議会 宇和支所
☎0894(62)3770

10/18 せいよこどもグッズまつり

まだまだ使えるのに不用となった子どもの衣類やおもちゃなどを回収して展示します。必要な人は自由に持ち帰ってくださいね。マイバック持参でお越してください。

日時 10月18日(日)午前9時～11時
大型商品のじゃんけん大会は午前10時から

場所 宇和体育館
※ご家庭で使わなくなった子どもグッズを提供ください!

回収期間 10月13日(火)～15日(木)
回収場所 各公民館・各小学校
☎ 生涯学習課 ☎0894(62)6415

第2回ライフキッズスポーツクラブin西予

親子で一緒に体を動かしながら遊んでいるうちに体力づくり。親子ヨガをメインとした体操教室です。対象は就学前までの幼児(3歳以上)。親子で参加してください。

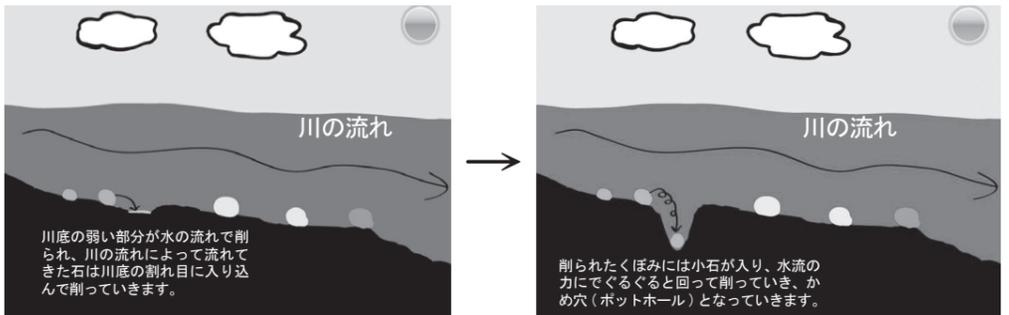
日時 10月10日(土)、17日(土)、24日(土)午後1時～2時
場所 野村児童館(ゆめちゃんこ2階)
参加費 全3回で300円(保険料込)
申込期限 9月30日(水)先着20組
☎ のむらスポーツクラブ ☎0894(89)1214

川の中のジオポイント「かめ穴」

今回は野村町大和田地区のジオポイント「大和田橋付近のかめ穴」について紹介します。この場所では4億年以上前に地下深くにあるマグマがゆっくりと固まってできた岩石が見られ、長い時間を経て現在、地上に露出しています。このような岩石は、地上の多様な自然現象に対しての耐性があまりなく、浸食などに弱いです。上流にはチャートなどの固い岩石が存在することから、下記のイラストのようにかめ穴(ポットホール)と呼ばれるものがあちらこちらできています。

かめ穴が見られる肱川は、支流が484本もある川で、下流に行けば行くほど川幅が広がってきます。野村町内～大和田にかけては宇和町よりも標高が100mほど低く、上流からは勢よく水が流れてきて浸食が進んでいました。しかし、昭和56年の野村ダム竣工によって水量が調節され、それ以降はあまり浸食が進んでいないのではないかと考えられます。

秋めいてきた今日、川が近くにあるジオポイントに行き、せせらぎを聞きながら大地の営みを感じてみてはいかがでしょうか。



ジオ GEO っってこー! Vol.3



地域おこし協力隊
 藤田 尚典
 まきた・たかのり

みんなの人権ひろば



庭づくりの第一人者である善阿弥は、8代将軍足利義政に重用され、多くの庭づくりに携わりました。銀閣の庭園は、善阿弥の子や孫など厳しい差別を受けていた人々によって造られました。当時彼らは高度な技術を持ち、現代にまで残る仕事をしました。

優れた業績
 職業や住む場所、服装にも制限があるなど、さまざまな差別を受けながらも社会を支えた人々は、どのような仕事に携わり、才能を発揮していたのでしょうか。優れた主な業績を、中学校歴史の教科書から探してみました。

能や狂言
 観阿弥・世阿弥親子は、猿楽に工夫を加え、能とし

中学校の教科書から 銀閣の庭園づくりに携わったのは誰?

て発展させました。雪駄づくり
 材料に竹の皮や牛馬の皮が使われている雪駄は、人気の履物でした。

皮の加工技術
 塩と菜種油を利用して、皮を柔らかくする「なめし」という優れた技術を持っていました。

そのほか
 染織、鍛冶、井戸掘りなど

身分制度の廃止
 1871(明治4)年に解放令が出され、差別を受けてきた人々は、古い身分制度に縛られなくなりました。しかし、具体的な生活改善の政策がとられず、職業・結婚・居住などの差別は根強く残りました。現在でも差別解消のために、さらなる努力が必要です。

☎ 市教育委員会 生涯学習課 ☎0894(62)6415

かがやき西予人

「ジオイイベント続々と開催中！」

30年後のために、今できること



「レンタサイクルを9月から始めました。ぜひ自転車に乗って、秋の風を感じながら宇和町を巡ってみてほしいと思います」。

大野ヶ原でのトレイルランニングや、サイクルイベントなどを企画している和氣宗一郎さん。美しい自然の中で体を動かす楽しさが人気を呼び、イベント告知を出すと参加者の半数以上が市外から集まることも。平成26年3月に発足した「四国西予ジオパークスポーツイベント実行委員会」の会長として活躍中です。

「11月29日には明浜・三瓶・宇和を巡るサイクルイベントを開催します。多くの人に参加してほしいですね」。

和氣さんはジオパークの「持続可能なまちづくり」に共感して活動を始めました。例えば30年後、子どもたちが「帰りたい」と思ったときに、帰って来られる西予市を残したいと思っています。

「これからはジオでお金を生み出す仕組み、経済循環を作り上げることが目標。そのためにはまず、西予市を知ってもらうことが大事。知らないところには行こうと思いませんからね」と和氣さん。来年開催される「えひめいよしの南予博2016」を好機と捉え、イベントも企画中。ジオというフィールドをスポーツで楽しみ、経済循環につなげようと奮闘しています。



和氣 宗一郎さん(36)＝宇和町卯之町四丁目／わけ・そういちろう：関西学院大学を卒業後、銀行員を経て平成15年に帰省。ワケスポーツ店長。妻華代さん(34)長男勇一郎くん(7)長女永佳ちゃん(5)二男亮幸くん(4)の5人家族。11月に開催のジオイベントに参加希望の人はHPをチェック。
<http://selyogeosports.ehime.jp>

有料広告

広告募集します

市役所 情報推進課 ☎0894(62)6404

広告募集します

市役所 情報推進課 ☎0894(62)6404

広告募集します

市役所 情報推進課 ☎0894(62)6404